

Nabtesco

第8期 株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災で被害に遭われた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

当期(2011年3月期)を振り返って

松本新会長：

当期の市場環境を振り返りますと、欧州諸国の財政問題や米国の景気回復の鈍化の一方で、中国をはじめとする新興国では活発な設備投資やインフラ投資が拡大しました。そのような環境のもと、産業用ロボットの需要が国内外で急回復したことに加え、中国などの新興国で、鉄道網の拡充などのインフラ投資の拡大やそれに伴う建設機械の需要の増加を受け、連結売上高は1,693億円と前

期から大幅に増加しました。また営業利益と当期純利益は、それぞれ202億円、133億円と、ナブテスコ始めて以来の最高益となりました。リーマン・ショック以降、油圧機器関連の国内工場の統合や、自動車用機器事業の分社化などのスリム化を実施し、収益力を強化してきましたが、こうした努力が、市場環境の好転にあわせて奏功する結果となったと考えております。

収益力は強化されましたが、多様性に富んだ当社事業や顧客ベース、さらにはパートナー企業との存在など、当社は「宝の山」です。モーションコントロールの領域で数多くの製品がトップシェアを誇る当社の強みをフルに活かし、顧客ベースを活用した情報収集力を強化すれば、当社の成長は長期にわたって加速できると考えております。小谷新社長を軸とする新経営体制のもとで、さらなる成長に向けた施策を遂行してまいります。

企業理念

ナブテスコは、
独創的なモーションコントロール技術で、
移動・生活空間に
安全・安心・快適を提供します。

平成23年6月

取締役会長

松本和幸

代表取締役社長

小谷和朗



来期(2012年3月期)以降の成長に向けて

小谷新社長：

2012年3月期の市場環境は、東日本大震災により部品調達のサプライチェーンが寸断されたことにより、当社の生産のみならずお客さまの生産にも少なからず影響が出ておりますが、その先の市場では新興国を中心に依然成長が期待され、産業用ロボット、建設機械、鉄道車両の分野で当社製品のニーズは拡大していくものと見込んでおります。

しかしながら、長期にわたって『利益ある成長』を継続するためには、一層のグローバル展開を通じて海外で評価される会社へと変貌することが必要不可欠と考えています。

10年先を見据えて策定した、2012年3月期を初年度とする新中期経営計画では、中国・アセアン諸国・インド等の成長市場でのさらなる飛躍をめざしますが、基本となる経営方針は前中期経営計画から一貫しており変わりません。

当社の海外展開は“地産地消”を前提に、顧客に寄り添う形で海外に生産工場を設立してきましたが、本年4月には、日、米、欧、中の世界4極生産体制の構築を目指し、欧州を中心に自動ドア事業で高いブランド力を有するスイスのGilgen社を買収し、6月には米国シアトルのワシントン大学で共同研究を行う当社の冠講座を開設するなど、従来とは異なった手法も採用しながら、グローバル展開を推し進めてまいり所存です。この展開を支えるのが人的資源であるという認識のもとに、『グローバル人財の育成』を

強化してまいります。

新中期経営計画では、2014年3月期に売上高2,400億円、営業利益率13%、ROE17%、ROA9.5%の経営数値目標を掲げております。引き続き利益率の向上を軸に資産効率を重視した経営をしてまいります。この中期期間は、キャッチフレーズに掲げております『Global Challenge: Advance to the Next Stage』に基づき積極的な投資・出資等を図りながら、長期的には3,000億円規模の売上をめざす企業集団にかわるための期間と位置づけております。

株主の皆さまへの配当につきましては、連結ベースの配当性向30%を目標に、安定した配当の継続を目指してまいります。

最後に

小谷新社長：

当社の競争優位性は、市場で高いシェアを占める製品を多岐にわたって持っていることです。これは、「独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供」という企業理念のもと、社員一人ひとりが真面目に努力を積み重ねた結果でもあります。また、顧客やパートナー企業との強固な信頼関係も一朝一夕に構築できたものではありません。

当社は、今後もこの強みを最大限活かし、さらなる成長に向けて邁進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

2012年3月期を初年度とする3カ年の新中期経営計画「Global Challenge: Advance to the Next Stage」を策定しました。

海外の成長市場でのさらなる飛躍に向け、海外事業の強化・拡大とグローバル経営を推進するとともに、国内事業基盤を強化し、大グローバル競争時代を勝ち抜くことで、永続的な企業価値の増大を目指します。そして2014年3月期には、売上高2,400億円、営業利益313億円、当期純利益203億円の数値目標と、ROA9.5%、ROE17%、配当性向30%の達成を目標とします。

精密機器事業では、新興国を中心に自動車設備投資の拡大が予測されるなど、一段の伸長が見込まれます。三重県津市

の工場で生産能力を増強するとともに、日・米・欧・中の世界販売拠点を強化します。

輸送用機器事業では、中国をはじめとする新興国での高速鉄道網の整備が進むことが期待されており、2011年1月に設立した鉄道事業の中国合弁会社では生産開始に向け、現在準備を進めています。また、中国市場の拡大とともに欧州市場への参入も図ります。

新興国市場での需要が好調な油圧シヨベルなどの航空・油圧機器事業では、日・中・タイのグローバル生産拠点の能力増強を図ります。

また産業用機器では、2011年4月のスイス・Gilgen社の買収を通じて、自動ドアの世界4極での事業展開を押し進めます。

数値目標

	2010年度実績	2011年度計画	2013年度計画	2014年度目標 (ご参考)*1
売上高	1,693億円	1,960億円	2,400億円	2,600億円
営業利益	202億円	225億円	313億円	360億円
営業利益率	11.9%	11.5%	13.0%	
当期利益	133億円	150億円	203億円	
ROA	8.1%	8.0%	9.5%	
ROE	15.8%	15.7%	17.0%	
3カ年累計設備投資額			380億円	
3カ年累計事業拡大投資*2			300億円	
3カ年累計研究開発費			150億円	

ROA: 総資産当期純利益率 *1 2014年度目標値は、長期ビジョンの経営目標
 ROE: 自己資本当期純利益率 *2 グループ会社設立、M&A、アライアンス等のための出資額

当期の世界経済は、欧州諸国での財政問題の長期化や信用リスクの悪化による景気低迷が続く一方で、米国での金融・財政政策の追加措置や、中国をはじめとする新興国での高い成長など、総じて景気の拡大基調が続きました。一方、日本経済は、円相場の高止まりやデフレ傾向の継続など予断を許さない状況が続く中、新興国への輸出増や、環境対応車や小型車の需要増に伴う企業の設備投資の回復により景気は緩やかに持ち直してきました。

このような状況の中、当社グループの業績は、主に国内外の産業用ロボット需要の急回復や、中国の積極的なインフラ投資に伴う建機需要の増加に支えられ、売上高は前期にくらべ大幅な増収となり、利益面でも増益となりました。

売上高、営業利益

売上高は前期比34.1%増加の1,693億円となりました。また、営業利益は同153.8%増加の202億円となりました。

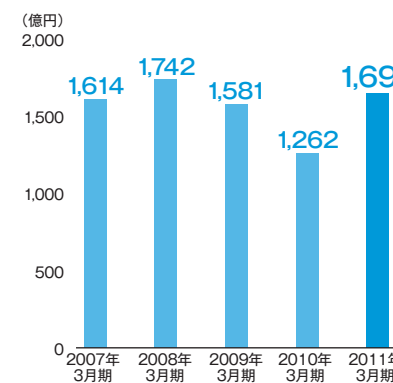
経常利益

営業利益の増加に加えて、持分法適用関連会社の業績改善もあり、前期比139.5%増加の223億円となりました。

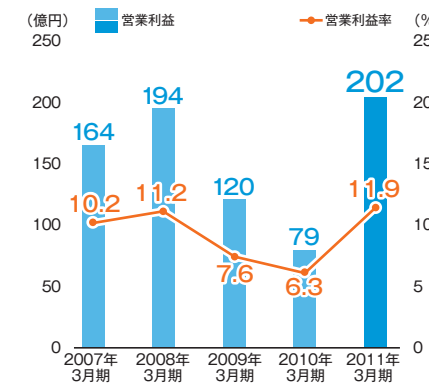
当期純利益

前期は、特別損失として自動車関連機器事業の構造改革費用、および油圧機器事業の国内生産体制の再構築に伴う費用を計上していたため、当期はその額が大幅に減少し、前期比233.2%増加の133億円となりました。

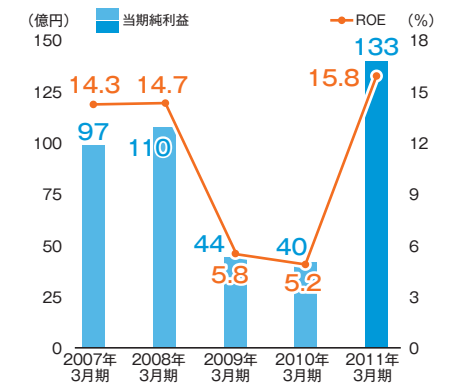
売上高



営業利益・営業利益率



当期純利益・ROE (自己資本当期純利益率)



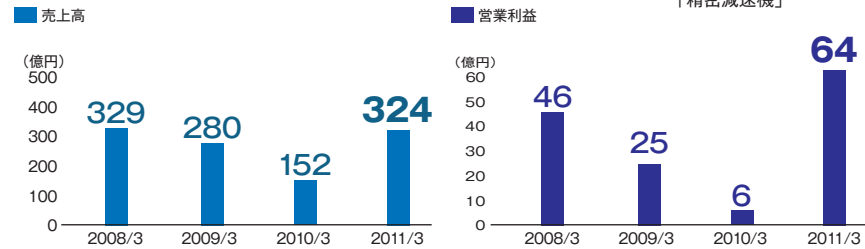
精密機器事業

精密機器事業の売上高は前期比112.3%増加の324億円、営業利益は同971.7%増加の64億円となりました。

精密減速機は、主として新興国における自動車販売台数の増加に伴う国内外の自動車メーカーの設備投資の拡大により産業用ロボットの需要が伸び大幅な増収となりました。



産業用ロボットに使われる「精密減速機」



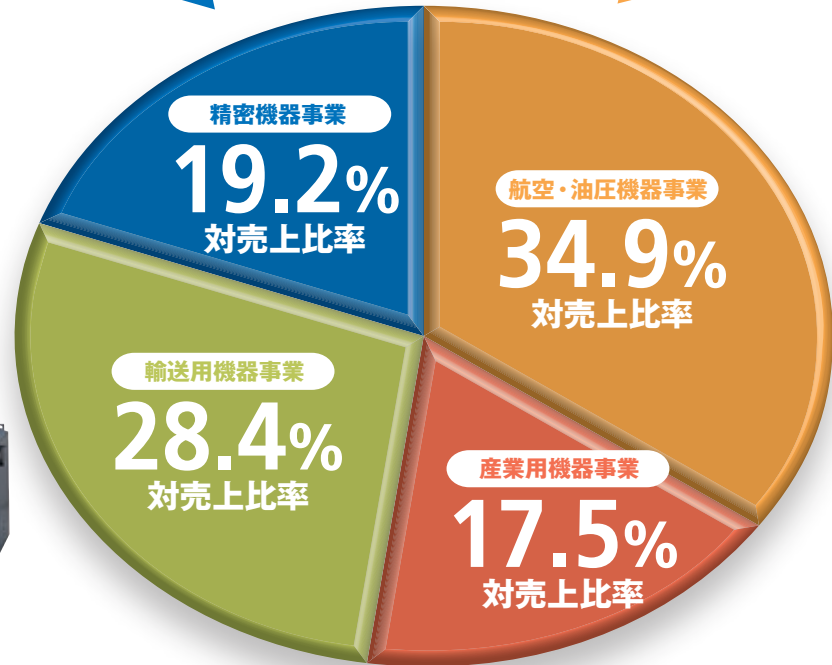
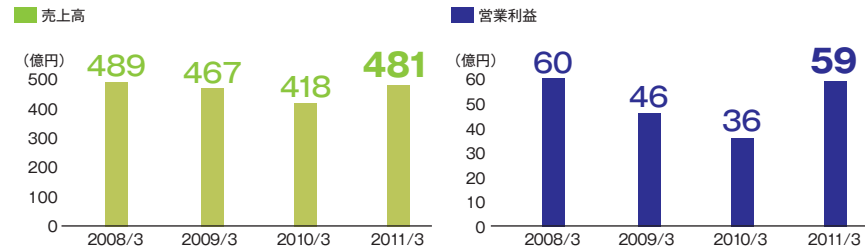
輸送用機器事業

輸送用機器事業の売上高は前期比15.0%増加の481億円、営業利益は同61.9%増加の59億円となりました。

鉄道車両用機器は、中国における鉄道網の拡充により増収となりました。船用機器は、新造船の建造隻数は堅調に推移し、新規受注も回復傾向にありましたが、円高による競争力の低下の影響を受け、若干の減収となりました。自動車用機器についてはトラックメーカーの国内および新興国向け需要の増加により増収となりました。



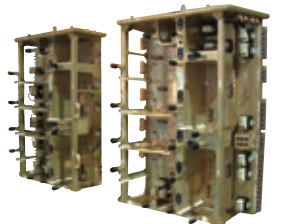
船用主推進機関の调速装置「電子ガバナースystem」



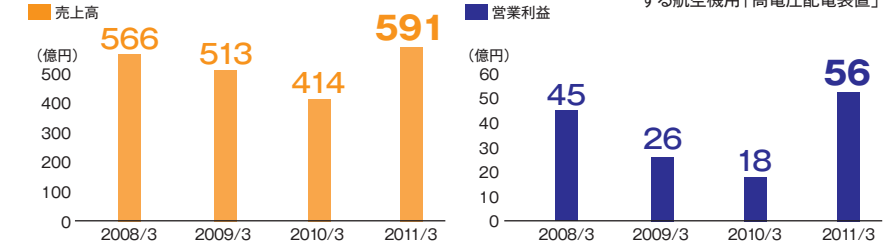
航空・油圧機器事業

航空・油圧機器事業の売上高は前期比42.5%増加の591億円、営業利益は同210.9%増加の56億円となりました。

油圧機器は、中国を中心とした新興国における建機需要が好調に推移し、増収となりました。航空機器は、民間需要が減少したものの防衛需要が堅調に推移したため増収となりました。



電源関連の装置をコンパクトに収納する航空機用「高電圧配電装置」



産業用機器事業

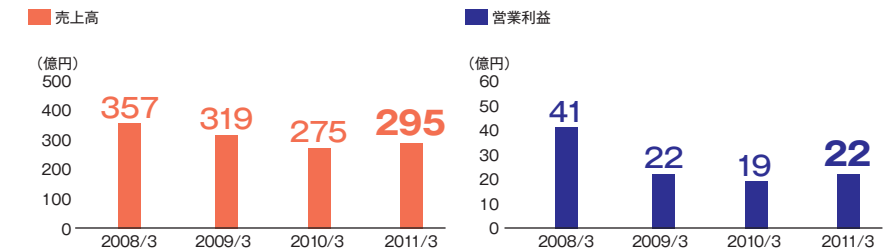
産業用機器事業の売上高は前期比7.2%増加の295億円、営業利益は同16.7%増加の22億円となりました。

自動ドア事業は、緩やかながらも国内市況の回復が見られ、売上は微増となりました。

包装機械につきましても、国内需要がやや回復したものの売上は前期並み、また専用工作機械につきましては、中国・韓国における自動車向けの増加により増収となりました。



ホームからの転落や列車との接触を防止する「可動式ホーム柵」



◆連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H22.3.31現在	当期 H23.3.31現在	増減額
【資産の部】			
流動資産	89,893	119,003	29,110
現金および預金	11,040	41,705	30,665
受取手形および売掛金	36,117	40,894	4,776
有価証券	24,499	14,999	△9,499
たな卸資産	15,266	17,017	1,750
その他	2,968	4,386	1,417
固定資産	59,587	61,726	2,138
有形固定資産	44,102	44,442	339
建物および構築物	17,322	16,444	△878
機械装置および運搬具	10,101	11,541	1,440
土地	14,393	14,341	△52
その他	2,284	2,114	△169
無形固定資産	1,192	1,073	△119
投資その他の資産	14,292	16,210	1,918
投資有価証券	12,302	14,549	2,246
その他	1,990	1,661	△328
資産合計	149,480	180,729	31,248

point 1

【売上高】

産業用ロボット需要の急回復や、中国をはじめ新興国の建機需要の増加により、増収となりました。

point 2

【営業利益】

売上の増加に加え、効率化を推進したことにより過去最高となりました。

point 3

【特別損失】

前期に事業構造改革や、工場集約など事業構造改善費用を計上していたため、特別損失は減少となりました。

◆連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H22.3.31現在	当期 H23.3.31現在	増減額
【負債の部】			
流動負債	43,610	74,891	31,280
支払手形および買掛金	24,447	33,591	9,144
短期借入金	8,920	9,157	237
1年内償還予定の社債	—	11,000	11,000
その他	10,243	21,142	10,898
固定負債	20,702	9,306	△11,396
社債	11,000	—	△11,000
退職給付引当金	8,000	7,550	△450
その他	1,701	1,755	54
(負債合計)	64,313	84,197	19,884
【純資産の部】			
株主資本	79,434	91,066	11,631
資本金	10,000	10,000	—
資本剰余金	17,467	17,448	△19
利益剰余金	52,662	64,263	11,601
自己株式	△695	△645	49
その他の包括利益累計額	△30	△824	△794
その他有価証券評価差額金	1,290	1,512	222
繰延ヘッジ損益	△1	△0	1
為替換算調整勘定	△1,319	△2,336	△1,017
新株予約権	73	159	85
少数株主持分	5,689	6,130	441
純資産合計	85,167	96,531	11,364
負債純資産合計	149,480	180,729	31,248

point 4

【フリー・キャッシュ・フロー】

営業利益の増加により、フリー・キャッシュ・フロー(営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー)が増加しました。

◆連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H21.4.1~ H22.3.31	当期 H22.4.1~ H23.3.31	増減額
1 売上高	126,249	169,303	43,054
売上原価	97,817	127,712	29,894
2 売上総利益	28,432	41,591	13,159
販売費および一般管理費	20,467	21,379	912
3 営業利益	7,964	20,212	12,247
営業外収益	1,623	2,929	1,306
営業外費用	250	776	526
4 経常利益	9,337	22,365	13,027
特別利益	298	103	△195
特別損失	1,625	514	△1,110
税金等調整前当期純利益	8,011	21,954	13,942
法人税等	3,271	7,485	4,214
少数株主利益	722	1,080	358
当期純利益	4,017	13,387	9,370

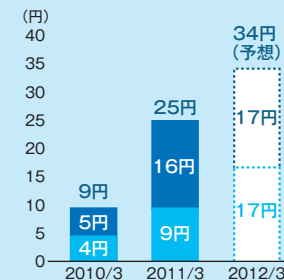
配当のお知らせ

【利益還元方針および配当金】

当期の配当は、1株あたり25円といたします。

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のパランスおよび安定配当を考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。

■1株あたり配当金の推移



◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	前期 H21.4.1~ H22.3.31	当期 H22.4.1~ H23.3.31	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	14,892	27,997	13,105
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,155	△4,419	1,735
財務活動による キャッシュ・フロー	△684	△1,849	△1,165
現金および現金同等物に 係る換算差額	74	△582	△656
現金および現金同等物の 増減額	8,126	21,145	13,019
現金および現金同等物の 期首残高	27,299	35,425	8,126
現金および現金同等物の 期末残高	35,425	56,570	21,145

配当金振込制度のご利用について

株主さまご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振り込み先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的に振り込みいたします。また株主さまが保有しているすべての銘柄の配当金をあらかじめ登録した一つの預金口座でお受け取りいただく方法や、証券会社の口座でお受け取りいただく方法もございます。配当金振込制度をご利用される場合は、株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がなく、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社0120-78-2031(フリーダイヤル)にお申出ください。

世界の産業界を陰で支えている優れモノ

【精密機器事業】 精密減速機RVシリーズ

産業用ロボットの関節などに使用され、緻密な動作を実現すると同時にロボットの力強さを支える要の部品、精密減速機。モーターなどの回転力を力に変える重要な機能を担っています。

ナブテスコは、この精密減速機分野に四半世紀以上にわたり取り組んできました。コンパクト、軽量、高位置決め精度、高剛性、高効率など、あらゆる市場ニーズを満たしたナブテスコの精密

減速機は、産業用ロボットの関節などに使用され世界中の工場ですべて活躍しています。

また、現在では産業用ロボットのみならず工作機械や半導体製造装置、液晶パネル製造装置などにも採用されるなど、さまざまな分野へとその用途を拡大しています。

①精度が高い

当社の精密減速機は各部品を1ミクロン単位で加工することにより、歯車のガタを減らし、滑らかに動き、精度の良い停止を可能にします。

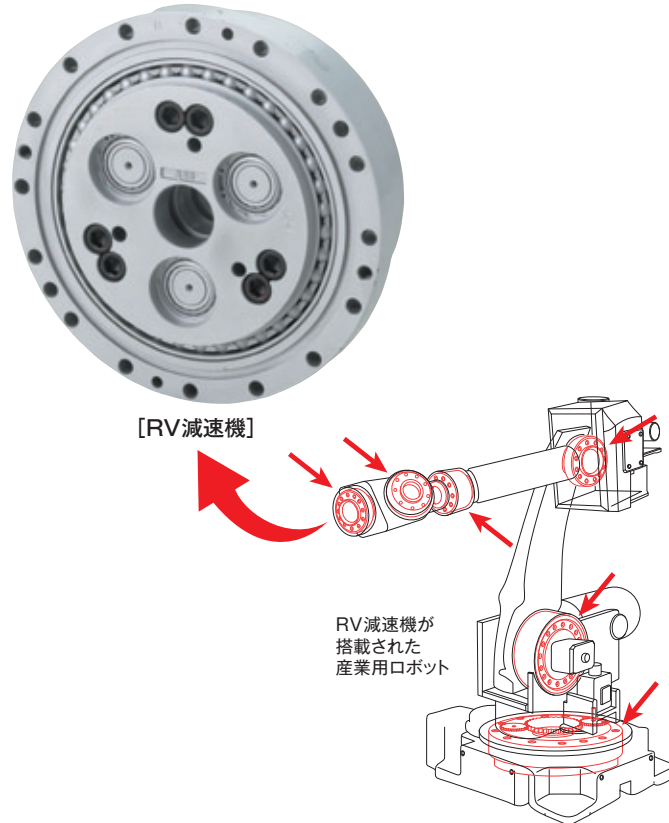
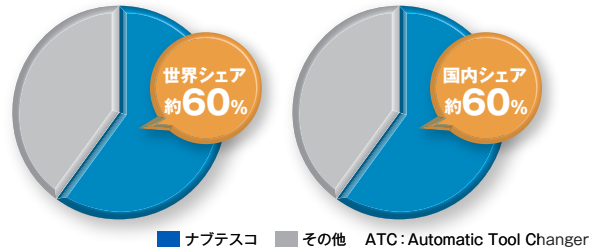
②衝撃に強い

歯車に大きな力がかかると、噛み合っている歯が折れてしまうことがあります。当社の精密減速機は特殊な歯車を使用しているため、耐衝撃性に優れ、壊れにくくできています。

③シェアNo.1

世界には多くの減速機メーカーがありますが、当社の製品は世界中のロボットメーカーに採用されており、そのシェアは約60%と世界一。今後もさらなるシェアの拡大に努めます。

■産業用ロボット関節用途精密減速機 ■工作機械ATC駆動分野



自動ドア事業の新展開～欧州・中国～

当社は、2011年1月にスイスのKaba Holding AG社と同社の有する自動ドア事業部門である同社子会社のKaba Gilgen AG社の買収について合意し、4月に株式取得を完了しました。これにより、Kaba Gilgen AG社は当社の子会社となりました。なお、この株式取得に伴い、同社の名称をGilgen Door Systems AGに変更しました。

Kaba Holding AG社はこれまで自動ドア事業において、欧州で長い歴史と高いブランド力を誇るほか、鉄道用プラットフォームドア事業を欧州、米国、中国を含む東アジアで展開してきました。

この買収により、当社は、自動ドア事業および鉄道用プラットフォームドア事業において、日本、米国、中国、欧州の世界4極で事業展開する体制を確立しました。

今後は、これら世界4極を通じた事業展開を推し進め、グローバル市場における地位をさらに高めてまいります。

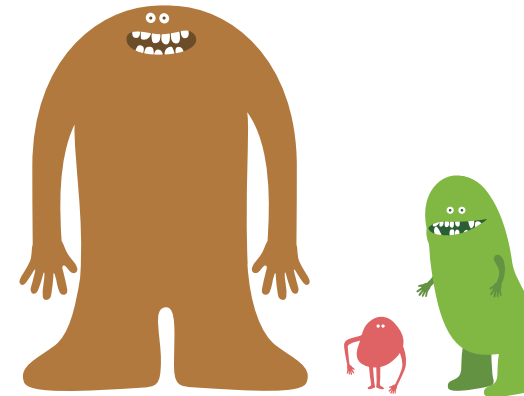


鉄道部品事業の新展開～中国～

当社は、中国都市交通網の飛躍的な拡大と鉄道車両部品の国産化を進める中国政府の方針に対応するため、2011年1月に、中国で鉄道車両関連事業を展開し、豊富な販売チャネルを有している今創集团有限公司(中国江蘇省常州市)と合弁会社、江蘇納博特斯克今創軌道設備有限公司(中国江蘇省常州市)を設立しました。



[北京地下鉄]



会社概要(2011年3月31日現在)

会社名：ナブテスコ株式会社
 設立：2003年9月29日
 所在地：東京都港区海岸一丁目9番18号
 資本金：100億円

従業員数：単体 1,989人
 連結 4,057人

連結子会社：国内14社(他持分法適用会社6社)
 海外19社(他持分法適用会社2社)

役員構成(2011年6月24日現在)

取締役会

取締役会長 松本和幸
 代表取締役社長 小谷和朗
 代表取締役専務取締役 坪内繁樹
 常務取締役 三代洋右
 常務取締役 今村雄二郎
 取締役 今村正夫
 取締役 青井博之
 取締役 坂本勉
 取締役 長田信隆
 社外取締役 橋本一秀(非常勤)

監査役会

監査役 中村秀一
 監査役 高橋信彦
 社外監査役 石丸哲也(非常勤)
 社外監査役 山田正彦(非常勤)
 社外監査役 三谷紘(非常勤)

業務執行体制

最高経営責任者 小谷和朗
 専務執行役員 坪内繁樹(企画本部長兼総務・人事本部長)
 常務執行役員 三代洋右(住環境カンパニー社長)
 常務執行役員 今村雄二郎(技術本部長)
 常務執行役員 上岡忠志(パワーコントロールカンパニー社長)
 執行役員 片多博(企画本部副本部長兼営業企画部長)
 執行役員 今村正夫(船用カンパニー社長)
 執行役員 青井博之(コンプライアンス本部長)
 執行役員 横山雄二(ナブコドア(株)代表取締役社長)
 執行役員 橋本正孝(技術本部副本部長・技術管掌)

執行役員 坂本勉(鉄道カンパニー社長)
 執行役員 長田信隆(航空宇宙カンパニー社長)
 執行役員 國井重人(パワーコントロールカンパニー副社長兼計測部長兼風車プロジェクト部長)
 執行役員 吉川敏夫(精機カンパニー社長)
 執行役員 尼子清夫(航空宇宙カンパニー副社長・マーケティング担当)
 執行役員 伊牟田幸裕(鉄道カンパニー 神戸工場長)
 執行役員 寺本克弘(住環境カンパニー 計画部長)
 執行役員 坂井宏彰(上海納博特斯克液圧有限公司 総経理)
 執行役員 十万真司(ナブテスコオートモーティブ(株)代表取締役社長)
 執行役員 藤本行康(ナブテスコサービス(株)代表取締役社長)

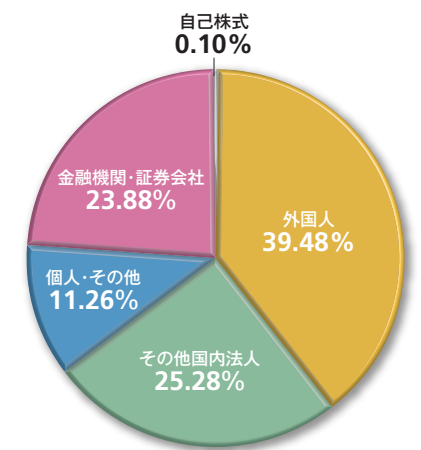
【株式の状況】

発行済株式の総数 127,212,607株 株主数 10,050名

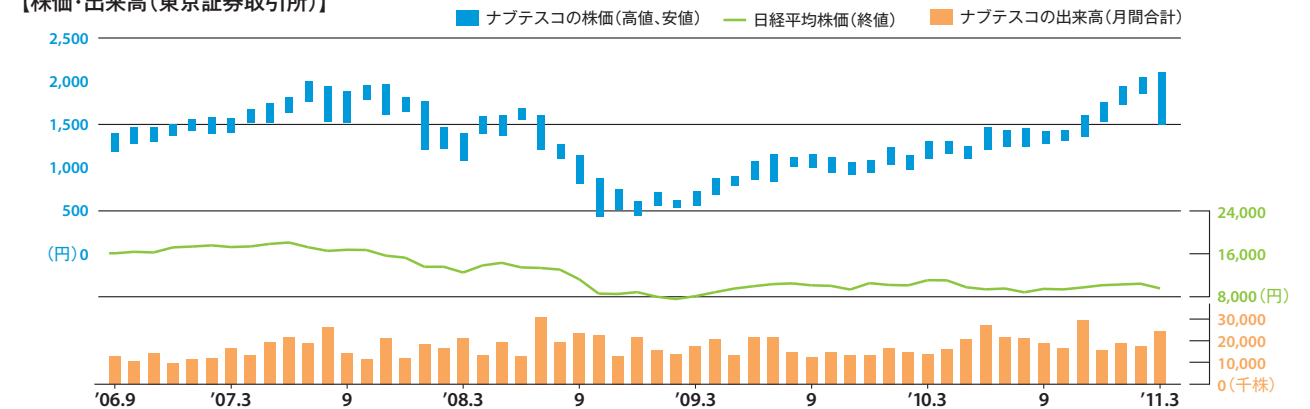
【大株主】(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権 比率
1 株式会社神戸製鋼所	15,100	11.89%
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,739	6.88%
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,352	5.00%
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,641	4.44%
5 東海旅客鉄道株式会社	5,171	4.07%
6 JP MORGAN CHASE BANK 380055	4,704	3.71%
7 帝人株式会社	4,469	3.52%
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口)	4,011	3.16%
9 TAIYO FUND, L. P.	3,523	2.78%
10 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.57%

【所有者別株式数比率】



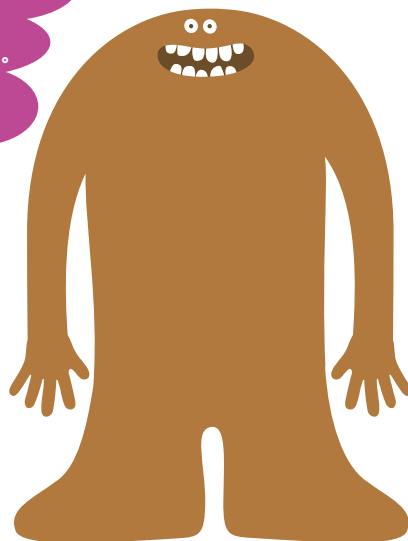
【株価・出来高(東京証券取引所)】



ナブテスコのキャラクターたち

見えないところで、物をうごかしたり、とめたり。
一生懸命がんばっている、
ナブテスコのキャラクターたちをご紹介します。

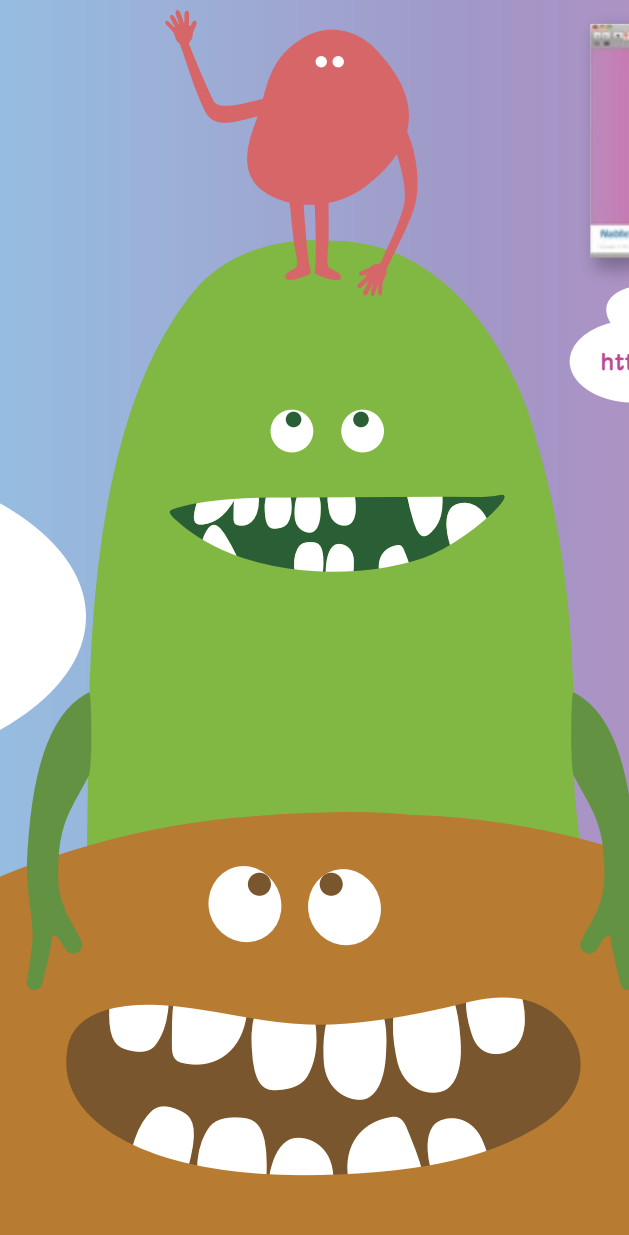
非常に大きくて力持ち。
ちょっとイタズラ好きな、
気の優しい性格です。
タンカーのエンジンなど、
大きな機械も制御しています。



長〜く伸びた手を器用に動かします。
細かい作業が得意な
キビキビした働き者です。
電車のブレーキやドアの開閉など、
身近なところで働いています。



とっても器用で柔軟。
変身したりも思いのまま。
ちょっととぼけた
おちゃめな性格です。
飛行機のフライトコントロールなど、
さまざまな場所で
活躍しています。



ホームページアドレス
<http://www.nabtesco.com/characters/>

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。